

仙台市児童生徒 8万人のいじめ防止『きずな』サミット

～差別と偏見について考えよう～

◎差別と偏見について考える話し合い活動

復興プロジェクトの朝会があり、校長先生から震災のこと、いじめ防止のことについてお話がありました。その後、各学級において、差別や偏見について考える授業を行いました。郡市長のメッセージを見て、ある事例を題材に差別や偏見のことについて考え、一人一人が自分たちにできることは何かを真剣に考えていました。

◇授業の様子



◇各学級から出された意見

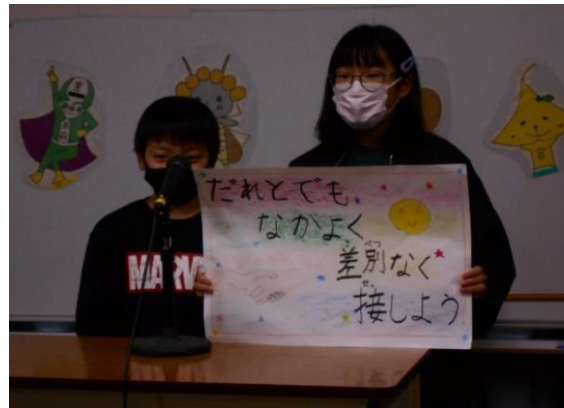
- 1年生: 仲間はずれにしない, 人が嫌がることはしない, 言わない。
- 2年生: 人が喜ぶことをする, なかよくする
- 3年生: 人を笑顔にする言葉を使う, 「て・ま・ね・き」に気を付けて生活する
- 4年生: 自分からうわさ話を作らない(しない), 相手の気持ちを考える
- 5年生: 自分がされて嫌なことはしない, うわさ話をしない, 信じない
- 6年生: 相手の立場になって考えよう, だれとでも仲良く分け隔てなく接しよう
友達の良いところに目を向けて生活する

など

◇計画委員会の話し合い



◇全校放送での発表



～発表の内容～

先日、いじめや差別、偏見について学習し、各学級で行動目標を決めてもらいました。その中から計画委員が話し合い、学校の行動目標について考えてきました。決まった行動目標は二つになりました。

一つ目は、「だれとでも仲良く差別なく接しよう」です。男女、クラス関係なく、みんなで仲良く公平に遊んだり、話したりしていきたいですね。

二つ目は、「うわさ話はしない、信じてない、流さない」です。これは、不確かな情報から勝手な思い込みをしないということです。みなさんも意識して生活しましょう。

みなさんもこの行動目標を大切にして、全校でいじめをなくし、差別や偏見のないすてきな宮城野小学校にしていきたいと思います。

宮城野小学校 行動目標

- ・ **だれとでも 仲良く 差別なく 接しよう**
- ・ **うわさ話はしない、信じてない、流さない**